

誠策で勝つ

民主党・船橋市議会議員

さいとう 誠

〒273-0021 船橋市海神4-22-12

TEL・FAX 047-431-1717

E-mail seisaku@jasmine.ocn.ne.jp

URL <http://www6.ocn.ne.jp/~seisaku/>



JR線路下地下道管理

本年1月中旬、海神町西にあるJR線路下地下道の治安・防犯対策について、相談を受けました。

市内には、JRや私鉄の線路下地下道がある箇所が存在しています。

主にJR線路下がほとんどですが、地下道部分が暗く、通行をためらっているという話をよく聞きます。

海神町西の地下道を調査に行きましたが、蛍光灯は設置されているものの、壁面がなんとなく暗く、地下道全体が暗い感じを受けました。

私が調査に行った直後に、不審者メールが入り、当該地下道を通行した中学校の生徒が痴漢にあうという事件が発生しました。

3月議会、で次のような提案をしました。

壁面を改善し、明るい色に塗り替えること。

地下道の密室性を考慮し、防犯力

メウ設置を検討すること。

更に、下総中山駅高架橋崩落事故が発生したことを受け、治安対策も踏まえて、JR東日本に、市内全域の線路下地下道の管理対策をとるよう、要請すること。

この提案に対して、市としては、「壁面の塗り替えと照明の増設については、早急に対応する。

市内には、鉄道高架橋下を人や車が通行する箇所がいくつもある。

このことから、JR東日本のみならず、各鉄道会社へも類似箇所の点検等について要請する。」

と答弁をしました。

海神町西の地下道の壁面の色については、当然、明るい色にするわけですが、いたづら書きを防止する意味でも、近隣の小学生に絵を描いてもらうことも、併せて、検討してもらうことになっています。

無料法律相談どうぞ

下記の通り、ご案内しますので、お気軽にご相談ください。

記

日時 2013年6月15日(土)
午後1時から4時まで

場所 堀江 はつ
千葉県議会議員事務所
西船2-27-23

窓口 さいとう 誠まで。

TEL 047-431-1717

尚、相談時間はお1人様30分とさせていただきます。(予約制です)

緊急の場合、日時について調整させていただきます。

場所は、千葉市中央区の弁護士事務所になります。

なんでも労働相談

経済不況の最中、雇用契約の更新がされなかったり、途中で雇用契約解除がされるという相談が増えています。

連合千葉総武地域協議会では、給与・残業代不払い、休暇、労働時間、解雇、退職金、労働災害、労災・雇用保険などに関して、無料労働相談を受けています。

お困りの方は、ご相談ください。

記

日時 5月17日(金)10時~16時

場所 船橋市勤労市民センター
連絡先 047-401-8126

活動日誌

3月 1日 質問原稿作成。

議会運営委員会出席

2日 西海神小学校器楽部演奏会

3日 民主党千葉県第4区総支部
役員会出席。

4日 会派代表者会議。

議会運営委員会出席。

5日 質疑初日。

6日 質疑2日目。議会運営委員会

7日 質疑のため、登壇。

8日 質疑最終日。内務処理。

9日 西海神小学校めだかの会
総会・卒業式典参加。

11日 中学校訪問。内務処理。

12日 千葉県警察本部生活安全部長と有価物持ち去り問題について意見交換。

13日 海神中学校卒業式。

市民環境経済委員会。

14日 市役所登庁。内務処理。

15日 市役所登庁。小学校訪問。

17日 家庭倫理講習会出席。

18日 議会報告原稿作成

19日 西海神小学校卒業式。

20日 海神中学校器楽部演奏会。
行田中学校管弦楽部演奏会

21日 議会報告印刷作業。

22日 農業委員会総会。

27日 第1回定例会閉会。

29日 連合千葉議員団会議幹事会

31日 船橋市日中友好協会主催
中国体験を語る会参加

空家対策条例制定

3月議会で、空き家等の適正管理に関する条例案が提案されました。

所謂、空家対策条例ですが、この条例制定の必要性については、以前、議会で提案をしてきました。

「近隣の空き家が倒れかかっているのを、改善してほしい。

空き家の庭木が鬱そうとしている。火事が起きたらどうするのか。治安面で問題があるのではないか。」など、多くの方から相談を受けてきました。

相談を受けるたびに、消防局などから土地所有者に連絡をとってもらってきましたが、所有者が不明であったり、あるいは、市が民地に立ち入ることができないことから、なかなか解決できずにきました。

今回、提案された条例は、空き家が管理不全な状態と市長が認めたとき、実態調査をします。

第1段階では、所有者に助言、指導をすることができる。

第2段階では、助言指導に関わらず、改善されないとき、勧告することができる。

第3段階では、除却、修繕などの措置を命ずることができる。

第4段階では、氏名を公表できる。

第5段階では、代執行できるようになっています。本年10月1日から条例が施行されます。

東海神駅エレベータ

東海神駅で議会報告を配布して、13年になりますが、25年度予算でエレベータ設置予算がつけました。

東海神駅のバリアフリー化については、市議会で必要性を訴えたことがあります。近隣の海神駅に続き、東海神駅がバリアフリー化されることは、喜ばしい限りです。

25年度から2カ年で工事が実施され、**26年度末に完成する予定です。**

エレベータは2基設置。

設置箇所は

改札内からホームへ行くために改札の中に1基。

コンビニ側の駅入口近辺に1基。となっています。

海神第1保育園側には、設置予定はありませんが、**理由**はスペース確保が難しいため。また、東葉高速鉄道のバリアフリー化されていない他の駅の整備を優先したいため。

もともと、上りエスカレータが2基、駅入口には設置されていましたが、車椅子の方、ベビーカー利用者が、駅へ降りていくのには、たいへん不便でした。

コンビニ側しかエレベータが設置されないのは、申し訳ないのですが、1経路はバリアフリー化されます。

皆様には、何卒、ご容赦いただきますよう、お願い申し上げます。

第1回定例会報告

2月25日から3月27日まで、第1回定例会が開会されました。

25年度予算をはじめとした議案審議をしました。

一般会計は1792億円(対前年3.3%増)。その他、特別会計、企業会計を含めた全会計は、3235億600万円(対前年2.1%増)です。

市税は、約14億円増ですが、その内、法人市民税が7億円増となっています。

また、24年度補正予算のうち約60億円が、学校耐震工事に使われ、24年度末で65%工事が完了します。尚、学校耐震工事は、27年度末で完了する予定です。

25年度一般会計予算の主なものは、以下の通りです。

行田国家公務員グラウンド跡地を約29億円で購入・整備。

具体的な整備内容は、防災備蓄倉庫・緊急消防援助隊活動拠点整備、多目的運動広場整備、重度身体障害者のための通所生活介護事業所整備、私立保育所整備、児童発達支援センター整備、母子生活支援施設整備です。

保育園待機児童対策として、社会福祉法人に約6億円建設費補助。

西船橋南口(定員90名)

飯山満2丁目(定員120名)

北本町1丁目(定員140名)

東船橋3丁目(定員110名)

26年度に4施設、合計460名定員増を図る。

鉄道駅のエレベータ・ホームドア設置に約1億2千万円補助。

東海神駅東口にエレベータ1基、改札内にエレベータ1基設置。

東武野田線船橋駅にホームドア設置(視覚障害者転落防止等の為)

雨水浸透施設設置補助

特に、雨水貯留タンク補助については、過去、議会で提案し、実現した。(設置費用の3分の2、上限2万円補助)

放課後ルーム整備

前原放課後ルーム第2ルーム整備
船橋小学校改築に併せ、新校舎内にルーム整備、法典放課後ルームを校庭拡張に伴い移設設計。

中学生までの通院・入院医療費助成に21億4087万円

8月から中学生の通院にかかる医療費を新たに助成。このことで、中学生までの全ての子供の入院・通院医療費を助成することになります。

自己負担金は通院1回・入院1日200円から300円に増額。調剤無料。

所得制限はなし。市町村民税所得割非課税世帯は、保護者自己負担金無料。(次号に続く。)

海神駅バリアフリー化のあゆみ①

海神駅バリアフリー化については、平成16年秋、海神4・5丁目自治会の皆さんから要望を受け、平成17年第1回定例議会で、初めて取り上げました。

以降、平成23年まで、本会議では10回とりあげ、また、藤代市長と直談判をしながら、平成25年3月末バリアフリー化が完成しました。

要望を受けてから、8年半も経過してしまいましたが、遅くなりましたことを、深くお詫び申し上げます。

平成17年からの歩みを振り返りたいと思います。

1. 平成17年第1回定例会で、線路南側の臨時昇降口を自動改札口にするよう提案。

市は、京成に自動改札口を申し入れるが、断られる。

理由は、改札口設置だけでなく、券売機、乗り越し精算機も必要となり、故障時の対応のため、駅員の増員、駅務室増設が必要となり、上りホームが狭いという構造から難しいということ。

新たな設備投資は運営経費面から困難とのこと。

人件費抑制のため、京成OBを再雇用するよう提案。

京成と市と船橋中央病院の3者で、京成OBの人件費や自動改札口

設置費用を分担することを提案。

無理ならエレベータ・エスカレータ設置をすることを提案。

2. 平成17年第3回定例会で、自動改札口設置のため、京成と市と船橋中央病院の3者で、人件費や自動改札口設置費用の分担についての検討結果を求めた。

京成からは、自動改札口設置は、維持管理、異常事態対応のための要員配置で、多額のコストがかかるため、できないとの回答。

市は、バリアフリー法で努力義務が課されていない乗降客数5千人未満の海神駅は、平成23年以降で改修するよう、京成と協議すると回答。

自動改札が無理なら、エレベータ・エスカレータ設置は絶対必要であると主張。海神駅は乗降客数が5千人未満だが、中央病院の患者さん、高齢者が多い地域であるという特殊性を考慮してほしいと要望。

乗降客数だけで判断するのは、間違いだと指摘。

3. 平成18年第1回定例会で、千葉市内の駅では、改札口を入れてすぐに駅構内の踏み切りを渡る構造になっていることを例にあげ、同様の方式を提案。

京成は、安全面で問題があり、駅ホームが短く、スロープ設置すると

海神駅バリアフリー化のあゆみ②

列車がとまるスペースに余裕がなくなることから、できないとのこと。

4. 平成18年第3回定例会で、遅くとも、平成23年度中にはバリアフリー化準備をすることを提案。

市は、実施年度を明確にできないが、できる限り、早期対応を京成に要請すると回答。

政令では、5千人未満でも、特殊事情がある場合は、優先的に整備が可能であるとなっているので、遅くとも、平成23年度中には対策をとるよう、求めた。

5. 平成19年第1回定例会で、新京成前原駅では、駅員体制を変えずに、自動改札口を設置するが、海神駅でも自動改札口設置を再検討できないか提案。

市は、再度、京成に申し入れをすると回答。

6. 平成19年第2回定例会で、自動改札口設置について、京成に申し入れた結果について、見解を求めた。

京成によれば、新京成とは、会社が違うため、施策に相違があることを理解してほしいと回答した。

市民、利用者の立場から京成の考え方は納得できない。

京成が再考するよう、市が交渉し続けることを主張。

7. 平成21年第1回定例会で、海神

4・5丁目自治会のバリアフリー化署名運動をどのように考え、地元の切実な思いをどう感じているか、見解を求めた。

市は、署名運動を非常に重みのあるものと考えており、地元の切実な要望を受け、京成にバリアフリー化を要請する、と回答。

バリアフリー化整備ができるまで、議会でとりあげ続けると主張。

8. 平成21年第2回定例会で、京成上野、津田沼駅で設置されている、コンパクトタイプのエレベータ・エスカレータ設置ができるはずであり、コストが安くなるはずだと提案。

京成がやる気になれば、バリアフリー化はできるはずであり、市長の決意を求めた。

市は、バリアフリー化は急務であり、コンパクトな機器の提案を含め、京成に要請すると回答。

市長選で、藤代市長の演説に地元は感動していたので、その思いを忘れず、バリアフリー化を完成させてほしいと要望した。

9. 平成21年11月、市長に面会し、市長から京成に交渉していただき、海神4・5丁目自治会会長、役員、市の企画部長、担当課長と一緒に、京成本社に、1万名の署名を持参し、バリアフリー化について協議。

海神駅バリアフリー化のあゆみ③

当日、京成は担当部長が出席予定でしたが、課長クラスの対応となり、京成には、誠意を感じるできませんでした。

10. 平成22年第4回定例会で、バリアフリー化の目処が立たないことに、地元から「議員の資格はない」と今まで以上に激しい叱責を受けていることを申し上げ、市長のリーダーシップを求め、5千人未満駅舎を対象にしたバリアフリー新法に基づく基本方針改正を国に大至急、要請することを提案。

また、市長から京成社長に誠意ある対応を求め、トップ会談を実現させることを提案。

市は、早急に方針を示すよう、国に働きかけていくと回答。

国が基本方針の改正を予定していないことに、強い怒りを覚えると発言した。

11. 平成23年第1回定例会で、国の基本方針改正案では、1日の乗降客数を3千人以上の駅舎を対象にするとのことですが、バリアフリー整備期間が、平成32年度となっており、あまりにも期間が長く、強い怒りを覚えました。

そこで、平成18年に提案した踏み切り方式を新設検討するよう提案。

京成は踏み切り方式は、危険であ

り、他の駅で廃止していく方向のためできないという考えだが、改札内踏み切りは、廃止されている様子が見えない。

平成32年度まで待ってられないので、改札内踏み切りの危険性を言いながら、廃止していない理由は何か、暫定的に踏み切り新設を検討することを提案。

市は、京成は、踏み切りを廃止したいが、代替となる地下道、駅舎の橋上化の財源がないことから、廃止できないと回答。

改札内踏み切りは、危険なので、新設できないと回答。

駅階段が急傾斜であり事故発生の危険性を訴え、損害賠償請求される前に、改札内踏み切り暫定設置を、京成に強く働きかけるよう、市長に要望。

12. 平成23年9月、市長から京成がバリアフリー化について、国庫補助金申請をしていると連絡が入る。

13. 平成23年第4回定例会で、海神駅上り下りホームにエレベータ設置、スロープ設置、障害者用トイレ設置の補正予算案が緊急上程される。

14. 平成25年2月エレベータ使用と障害者用トイレ等使用が開始され、3月にはスロープ完成。

海神駅バリアフリー化公約実現。